

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市台原老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 34,130人(前年度比 108.7%) 令和4年度 31,398人 令和3年度 18,950人	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 73,750千円 (73,750千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、運営委員会、意見箱の設置を行った。	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行したことに伴い、施設運営や各種事業を見直し、利用制限の緩和を行いながら事業運営を行ったことで、令和4年度より延べ利用者数が増加した。</p> <p>主催事業に関するものとしては、地域で空き家が増加している現状に即して「住まいの終活セミナー」を仙台市住宅政策課と共同で行った。また、例年参加申込みの多い「シニア健康運動教室」では、令和4年度より回数を増やして実施し、高齢者の身体機能の維持及び向上につなげた。さらに台原健康セミナーでは、鍼灸師によるツボ押し講座や、センター嘱託医による感染症に関する講話を行い、対面での開催は4年ぶりであったが、多くの高齢者にご参加いただいた。台原ミニ交流祭では、文化系サークルの発表の場として、より多く高齢者が参加及び観覧できるよう、ロビーの展示スペースを拡大するなどの工夫を行った。</p> <p>施設の利用に関するものとしては、貸室の利用定員の制限緩和や、入館時の手続きを簡素化することでより多くの高齢者が施設を利用できるよう努めた。また、ロビーや和室を開放することで入館前の待ち時間を解消し、利便性の向上につなげた。</p> <p>今後も安心して施設が利用できるように環境衛生の維持と高齢者の健康づくりに努める。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行したことに伴い、施設運営や各種事業を見直し、利用制限の緩和を行うなど利用者数が増えるように努めている。</p> <p>例年参加申込みの多い「シニア健康運動教室」では、令和4年度より回数を増やして実施するなど、高齢者の身体機能の維持及び向上につなげている。健康セミナーでは、ツボ押し講座や、感染症に関する講話を行い、多くの方に興味関心があるテーマを企画立案している。ミニ交流祭では、文化系サークルの発表の場として、より多く高齢者が参加及び観覧できるよう、ロビーの展示スペースを拡大するなどの工夫を凝らした取り組みも見られる。</p> <p>また、貸室の利用定員の制限緩和や、入館時の手続きを簡素化したほか、ロビーや和室を開放することで入館前の待ち時間を解消するよう利便性の向上に努めている。</p> <p>令和5年度においては、仙台市主催のeスポーツ教室の運営への協力も行っている。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課